

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 長寿課				内線等	2122
事務事業名	シルバーカード整備事業					事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）	
根拠法令等						Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	高齢者福祉
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	65歳以上のひとり暮らしや高齢者夫婦世帯及び高齢者のみ世帯を対象に
手 段	実態把握調査を実施し
想定する成果	高齢者福祉サービスの基礎データを把握する。

事業の概要

各年4月1日現在

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
登録世帯	3,508世帯	3,600世帯	3,694世帯
高齢人口	17,790人	18,422人	19,054人

成果指標名	登録率	
成果指標の説明	登録世帯 / 老人人口 × 100	

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		19.7%				19.5%				19.4%			
成果指標													
事業費	事業費	569				934				230			
	人件費	1,557				1,562				1,569			
	(人数)	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0	正規	0.2	非常勤	0.0
	合計	2,126				2,496				1,799			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	2,126				2,496				1,799			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	1	毎年度調査を実施し市内在住のひとり暮らし高齢者世帯及び老夫婦世帯の把握に努めている。
経済効率性	2	2	2	2	費用に見合った成果をあげている。
事務効率性	2	2	2	2	民生委員の協力を得て調査を行っている。
必要性	3	3	3	3	調査を行うことで要援護者を把握し、緊急時の対応等へ効果的な成果がある。
小計	9	9	9	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	調査対象者から要望を聞き取りし必要なサービス提供及び情報の提供をしている。
合計	11	9	11	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	市内在住の高齢者を把握することは、福祉サービス等を計画するための基礎資料となり、又災害弱者の把握、介護予防の観点からも効果がある。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

<p>前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」</p> <p>調査結果を基礎データとして福祉サービスや介護保険サービス等の利用を含む総合的な利用実態を把握することで要援護高齢者への支援プランが効果的に運用できることから個別に運用しているデータを統合したい。</p> <p>上記改善点の実施状況</p> <p>サービスの提供をうける側がシルバーカードの登録者に限らないため、一括の管理が難しい。</p>

今後さらに改善すべき点

福祉サービスや介護保険サービス等の利用を含む総合的な利用実態を把握することで要支援高齢者へ効果的働きかけができるようにデータを一括管理する必要があるが、個人情報保護との兼ね合いが難しい。

平成21年度予算に反映する項目

3年に一度の登録者全員の見直しの時期にあたる。

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

